

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サハダイヤモンド

コード番号 9898 URL <http://www.sakha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 姜 杰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR戦略室室長兼管理部部長

(氏名) 井上 喜明

TEL 03-3846-2061

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,803	23.7	△388	—	△537	—	△550	—
24年3月期第2四半期	1,458	26.6	△254	—	△532	—	△527	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △759百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △371百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△1.65	—
24年3月期第2四半期	△2.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	3,915	3,361	78.0	9.17
24年3月期	4,682	4,121	79.8	11.21

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,054百万円 24年3月期 3,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	—	30	—	30	—	20	—	0.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	333,172,137 株	24年3月期	333,172,137 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	21,888 株	24年3月期	21,364 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	333,150,467 株	24年3月期2Q	248,589,674 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料のP.2「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の財政危機を背景とした欧米経済の先行きへの懸念や円高の影響及び長引くデフレ問題等により、景気の先行き感是不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況のもと、当社グループの属する宝飾業界においては、消費マインドの落ち込みに加え、価格競争も激化しております。

当社グループにおける中国の海外事業では、第1四半期連結会計期間に当社の海外子会社である維真珠寶（上海）有限公司が中国上海においてジュエリー8店舗を取得し、積極的な運営をしております。

また、日本のダイヤモンド事業では、楽天市場を中心としたインターネット販売に加え、テレビショッピングQVCの出演回数を増やしております。

なお、当社の海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）ではダイヤモンドの原石及び原石加工販売を行っており、増産体制の設備が整いました。

他方、トレーディング事業は、ロシア産インゴット（金地金）及び中国産レアアース等の販売を中心に行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高は1,803百万円（前年同期比23.7%増）、営業損失は388百万円（前年同期は営業損失254百万円）、為替差損152百万円の発生等により経常損失は537百万円（前年同期は経常損失532百万円）、四半期純損失550百万円（前年同期は四半期純損失527百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### （海外事業）

中国におけるダイヤモンドジュエリー販売は、概ね予想どおりに推移したことから、売上高は166百万円、セグメント利益は1百万円となりました。なお、当事業は前年同期の記載はありません。

#### （ダイヤモンド事業）

日本のダイヤモンド事業では、テレビショッピングQVCの出演回数が増えたため、ダイヤモンドジュエリー販売は好調に推移したものの、店舗販売の落ち込みから、売上高は205百万円（前年同期比25.3%減）、セグメント損失は26百万円（前年同期はセグメント損失46百万円）となりました。

#### （ダイヤモンド研磨事業）

海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）では、市場価格が回復の兆しを見せ始めており、売上高は1,353百万円（前年同期比41.1%増）、セグメント損失は29百万円（前年同期はセグメント損失26百万円）となりました。

#### （トレーディング事業）

トレーディング事業の売上高は78百万円（前年同期比65.1%減）、セグメント損失は234百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は3,915百万円となり、前連結会計年度末と比較して767百万円減少いたしました。資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

#### ①資産

売掛金が233百万円増加したものの、現金及び預金が553百万円、たな卸資産が328百万円減少したこと等により767百万円の減少となりました。

#### ②負債

未払金が11百万円減少したこと等により7百万円の減少となりました。

#### ③純資産

四半期純損失が550百万円計上されたこと等により759百万円減少しております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年5月18日付公表の平成25年3月期第2四半期（累計）連結業績予想を修正しております。

詳細は、平成24年11月14日付で公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、当社グループが展開するダイヤモンドジュエリー販売等はクリスマスシーズンを含む下期には売上が伸びる傾向にあり、業績の回復が予想されることから、修正しないことといたしました。また、当該予想が必要となる場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

連結子会社のうち決算日が12月31日である公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）については、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務情報のより適正な開示を図るために、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結をする方法に変更しております。この仮決算の実施により、公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）については平成24年1月1日から平成24年9月30日までの9ヶ月を連結しております。

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	994	441
受取手形及び売掛金	225	459
たな卸資産	1,288	960
その他	235	212
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	2,739	2,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,519	1,413
減価償却累計額	△49	△71
建物及び構築物（純額）	1,469	1,341
土地	56	111
建設仮勘定	66	—
その他	39	128
減価償却累計額	△28	△70
その他（純額）	10	57
有形固定資産合計	1,603	1,510
無形固定資産		
その他	5	3
無形固定資産合計	5	3
投資その他の資産		
投資有価証券	3	0
営業保証金	321	321
その他	12	12
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	334	330
固定資産合計	1,942	1,845
資産合計	4,682	3,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28	31
短期借入金	161	155
未払法人税等	11	6
前受金	233	244
その他	124	111
流動負債合計	560	550
固定負債		
その他	0	3
固定負債合計	0	3
負債合計	561	554
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,893	3,893
資本剰余金	1,458	1,458
利益剰余金	△1,820	△2,370
自己株式	△2	△2
株主資本合計	3,529	2,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	206	75
その他の包括利益累計額合計	206	75
少数株主持分	385	306
純資産合計	4,121	3,361
負債純資産合計	4,682	3,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,458	1,803
売上原価	1,353	1,917
売上総利益又は売上総損失 (△)	104	△113
販売費及び一般管理費	358	275
営業損失 (△)	△254	△388
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	—	4
その他	1	5
営業外収益合計	1	10
営業外費用		
支払利息	0	5
為替差損	277	152
株式交付費	1	—
その他	0	1
営業外費用合計	280	159
経常損失 (△)	△532	△537
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純損失 (△)	△532	△541
法人税、住民税及び事業税	1	4
法人税等調整額	△5	—
法人税等合計	△4	4
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△527	△545
少数株主利益	—	4
四半期純損失 (△)	△527	△550



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△527	△545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	156	△213
その他の包括利益合計	156	△213
四半期包括利益	△371	△759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△371	△744
少数株主に係る四半期包括利益	—	△15

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	インター ネット事業	ダイヤモンド 研磨事業	トレーディ ング事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	168	106	959	224	1,458	—	1,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	0	—	—	7	△7	—
計	174	107	959	224	1,465	△7	1,458
セグメント損失(△)	△19	△27	△26	△7	△80	△173	△254

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△173百万円には、セグメント間取引消去△3百万円及び配賦不能営業費用△169百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門関する費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. トレーディング事業(ロシア産インゴット(金地金)の輸入販売及び資源に関する品目の取り扱い)は、新たに開始した事業であり、報告セグメントの内容を変更するものではありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	海外事業	ダイヤモンド 事業	ダイヤモンド 研磨事業	トレーディング 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	166	205	1,353	78	1,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	14	—	14
計	166	205	1,367	78	1,818
セグメント利益又は損失(△)	1	△26	△29	△234	△289

2. 報告セグメントの合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△289
セグメント間取引消去	8
全社費用（注）	△107
四半期連結損益計算書の営業損失	△388

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの意思決定プロセスを見直し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための区分の変更に伴い、報告セグメントの区分を変更しております。

中国で展開するジュエリー販売については、「海外事業」とし、日本における「ブライダルジュエリー事業」及び「インターネット事業」を統合して「ダイヤモンド事業」と名称を変更し報告セグメントとしております。

なお、当該組織変更を反映した前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	海外事業	ダイヤモンド事業	ダイヤモンド研磨事業	トレーディング事業（注）	
売上高					
外部顧客への売上高	—	274	959	224	1,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	—	274	959	224	1,458
セグメント損失（△）	—	△46	△26	△7	△80

（注）トレーディング事業（ロシア産インゴット（金地金）の輸入販売及び資源に関する品目の取り扱い）は、新たに開始した事業であり、報告セグメントの内容を変更するものではありません。

報告セグメントの合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△80
セグメント間取引消去	△3
全社費用（注）	△169
四半期連結損益計算書の営業損失	△254

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。